

伊丹市自転車活用推進計画 令和5年度取組状況の評価

令和6年度第2回伊丹市総合交通会議(全体会)

令和6年度第2回伊丹市総合交通会議(全体会)
令和6年8月7日(水)

都市交通部交通政策室交通政策課

1.取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】
の5段階評価

自転車安全利用の促進(7施策)

- ◆進捗状況が【予定通り】の取り組み(7/7)
- ①自転車安全利用に関する啓発[3]
- ②学校教育での自転車安全教室の実施[3]
- ③自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[4]
- ④警察による指導強化[5]
- ⑤自転車事故マップの作成[3]
- ⑥自転車保険の加入推奨[6]
- ⑦自転車点検整備の啓発[3]

2.指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質		H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R10	評価状況
自転車関連事故件数(件/年)	↓	目標	—	396	377	357	258	—
		実績	420	238	184	160	—	◎
人口1万人当たりの自転車関連事故件数(件/年)	↓	目標	—	20	19	18	13	—
		実績	21	12	9	8	—	◎
交通安全教室の参加者数(人/年)	↑	目標	—	6,300	6,350	6,400	6,450	—
		実績	6,258	4,322	4,716	4,779	—	△

3.計画の進捗に対する評価

街頭啓発や自転車交通安全教室に加え、エフエムいたみやケーブルテレビ等、様々な媒体を活用した取り組みが進められており、「自転車関連事故件数」が目標値を達成する等、効果があらわれています。

特に、市と警察で連携し、自転車事故多発地点を中心に事故要因や発生時間帯に即して行われる街頭啓発は、自転車関連事故の発生の抑制に寄与していると考えます。

また、オリジナル啓発動画「ITAMI BICYCLE MANUAL」や市内17小学校区ごとの自転車事故発生地点等を示した「自転車ハザードマップ」を作成し、交通安全教室等で活用する等、よりわかりやすい啓発に努めるとともに、県、警察と連携した**自転車用ヘルメットの着用の推進**に取り組むことにより、安全意識の向上が図られているものと考えます。



1.取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】
の5段階評価

自転車通行環境の整備・確保(6施策)

- ◆進捗状況が【予定通り】の取り組み(6/6)
- ①自転車通行空間の整備[1]
 - ②道路標識や道路標示等の適切な設置運用[51]
 - ③通学路・生活道路の安全対策[12]
 - ④街路樹の適切な管理[9]
 - ⑤無電柱化の推進[8]
 - ⑥警察による取締強化[5]



2.指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質		H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R10	評価状況
自転車レーン等 整備区間延長(km)	↑	目標	—	9.0	9.4	10.5	16.0	—
		実績	7.8	9.0	9.2	9.5	—	△

3.計画の進捗に対する評価

「自転車レーン等整備区間延長」が目標値を達成していないものの、市道中央天津線に走行位置を表示したピクトマークを設置するなど、自転車通行空間の整備が進められています。

中心市街地(宮ノ前4085号線ほか3路線)における電線共同溝整備事業が完了する等、自転車・歩行者空間の確保に加え、良好な都市景観の創出にも寄与していると考えます。

また、自転車レーンの供用開始と併せた、隣接した歩道の「普通自転車歩道通行可」の交通規制の廃止については、自転車レーン等が整備された路線を対象とした交通量調査の結果等を活用するなど、引き続き、市、警察が連携した周知・啓発活動を行い、歩行者の安全を確保しながら、安全で快適に自転車が通行できる取り組みを推進する必要があると考えます。

1.取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】
の5段階評価

駐輪環境の整備・確保(4施策)

◆進捗状況が【予定通り】の取り組み(4/4)

- ①放置自転車等の啓発・指導[45]
- ②放置自転車等の撤去強化[46]
- ③自転車駐車場の計画的な保全[2]
- ④自転車盗難防止[52]



自転車盗難防止に関する街頭啓発の様子

2.指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質		H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R10	評価状況
放置自転車等台数 (台/日) ※調査日における 台数	↓	目標	—	120	119	118	113	—
		実績	120	58	38	56	—	◎
市営自転車駐車場 利用台数(台/日) ※1日当たりの平 均台数	↑	目標	—	6,064	6,331	6,598	6,865	—
		実績	6,865	5,999	6,370	6,680	—	○

3.計画の進捗に対する評価

「放置自転車等台数」が目標値を達成するなど、中心市街地における放置自転車等の啓発・指導等の取り組みの効果があらわれています。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ人流等の回復により、「市営自転車駐車場利用台数」が増加傾向にあるものの、「放置自転車等台数」が昨年度の実績値に対して増加していることから、引き続き、放置自転車対策に取り組む必要があると考えます。

また、自転車盗難防止の取り組みにおいては、市、警察が連携し、自転車施錠の促進に効果的な啓発方法の検討が必要と考えます。

1.取組施策

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】
の5段階評価

総合的な自転車活用の推進(5施策)

- ◆進捗状況が【予定通り】の取り組み(4/5)
 - ①サイクリングモデルルート of 環境整備[53]
 - ②バス停留所隣接の自転車駐車場整備の検討[25]
 - ③シェアサイクル等の検討[40]
 - ⑤自転車通勤の促進[20]
- ◆進捗状況が【予定を下回る】の取り組み(1/5)
 - ④災害時の自転車活用[54]



2.指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質		H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R10	評価状況
貸自転車台数(台)	↑	目標	—	174	181	187	225	—
		実績	174	164	173	162	—	△

3.計画の進捗に対する評価

「貸自転車台数」が目標値を達成していないものの、民間事業者によるシェアサイクルサービスが開始されるなど、観光やにぎわい創出に繋がる、自転車を活用したまちづくりが進められています。

「災害時の自転車活用」については、原動機付自転車等とすみ分けを行い、より効果的に活用できる方法を引き続き検討するとともに、災害時には迅速に対応できるよう準備をしておく必要があると考えます。

また、「自転車通勤の促進」については、商工会議所等関係団体とも連携し、公共交通機関の利用も含めた、地元企業等に対する今後の啓発方法を検討する必要があると考えます。